

参加費無料

【イベント】GBRC建築技術セミナー開催案内

今年度の『GBRC建築技術セミナー』について、開催概要が決まりましたのでご案内いたします。
 今年は『**未来社会と建築**』-大阪関西万博から-』をテーマに、**大阪会場**（ホテルフクラシア大阪ベイ）と**東京会場**（一橋大学一橋講堂）にて開催いたします。
 お申込みはこちらから ⇒ https://www.gbrc.or.jp/training/gbrc_meeting/

会場	開催日時	定員
ホテルフクラシア大阪ベイ	2024年2月28日（水）	400名
一橋大学一橋講堂	2024年3月18日（月）	250名

<大阪会場> **ホテルフクラシア大阪ベイ**にて行われる【特別講演】プログラム一覧

(敬称略)

A会場 1階講堂	【 基調講演 】 「いのち輝く未来社会のデザイン」	(公社)2025年日本国際博覧会協会 整備局 会場整備部 建築1課長 鈴木 和弘
	※【 材料 】「建築材料に関連する建築行政の最近の動向について」	国土交通省 住宅局 建築指導課 企画専門官 窪田 悦郎
	【 材料 】「大阪・関西万博に向けた環境配慮への取組み」	(株)浅沼組 技術研究所 建築材料研究グループ グループリーダー (万博研究会 コンクリート系材料WG サブリーダー) 山崎 順二
	※【 構造 】「生分解性材料を用いた3Dプリンタ造形物の構造体としての実現可能性について~Seeds Paper Pavilion~」	(株)竹中工務店 大阪本店設計部 構造2部門 構造2グループ チーフエンジニア 濱田 明俊 (株)竹中工務店 大阪本店設計部 設計1部門 1グループ チーフアーキテクト 山崎 篤史
B会場 2階 214号室 大会議室	【 確認 】「(仮題)ブルーオーシャン・ドームについて」	(株)坂茂建築設計 ディレクター 原野 泰典
	【 確認 】「ガスパビリオンの設計について」	(株)日建設計 設計監理部門 スペースデザイングループ 部長 小谷 陽次郎
	【 確認 】「ちがいがら学びの気づきを得るインクルーシブな木造校舎」	(株)竹中工務店 設計部企画プロポーザル グループ長 永井 務
	【 防災 】「大規模集客施設の避難安全性評価と最近の群集流動実験の紹介」	大成建設(株) 技術センター都市基盤技術研究部 防災研究室 火災安全チーム 主任研究員 池畠 由華

大阪会場は大阪府咲洲庁舎展望台から万博会場の説明を行う見学会を開催します。

A会場 講堂



鈴木 和弘



窪田 悦郎



山崎 順二



濱田 昭俊



山崎 篤史

B会場 大会議室



原野 泰典



小谷 陽次郎



永井 務



池畠 由華

東京会場



久保園 洋一



関田 徹志

<東京会場> **一橋大学一橋講堂**にて行われる【特別講演】プログラム一覧 ※上記、下線表記のプログラムは**東京会場**でも行います。

東京会場	【 基調講演 】 「いのち輝く未来社会のデザイン」	(公社)2025年日本国際博覧会協会 整備局 会場整備部 建築3課長 久保園 洋一
	【 材料 】「環境配慮型コンクリート開発への取組み」	鹿島建設(株) 技術研究所 副所長 関田 徹志

【お知らせ】 ご存じですか？ GBRC東京事務所

平素は、大変お世話になっております。さて、今回のメールサービスは、GBRC東京事務所についての紹介から、お客様の業務に役立つ最新情報・セミナー開催のご案内、と盛りだくさんでお届けいたします。

選べます、場所!!

GBRC東京事務所でも、性能評価、性能証明、JIS認証の業務を行っています。



東京事務所



大阪事務所

性能評価の委員会は、完全WEB開催で実施しており、ご準備いただく資料は、基本電子データで、クラウドサービス「BOX」へご提出いただいておりますので、自席から等、場所を問わずに、ストレスなく手続きを進めることが出来ます。

部会につきましても、ご希望の開催方法で、東京事務所でも行えます。

選べます、部会の開催方法!!

大阪・東京事務所共に、部会の開催方法は、
①対面②Zoom③対面+Zoomのいずれの方法でも対応可能です。

ご希望に応じた会議システムを利用
対面・Web両方の形式にて実施可能



Web会議形式



対面形式

対面形式に加えて、一部のメンバーが所外からZoomでご出席するハイブリッド形式も可能です。

【お知らせ】 ご存じですか？ GBRC東京事務所

東京事務所入口



東京事務所内
のご紹介

待機スペース



会議室 A



← 会議室A：定員16名
(モニタ使用時：14名)

会議室B：定員10名 →
(モニタ使用時：6名)

会議室 B



東京事務所の会議室A・Bは、委員会・部会・打合せなどの際に対面でのご利用やZoom接続の拠点としてご利用いただけます。無料Wifiつながります!!

【お知らせ】 ご存じですか？ GBRC東京事務所

東京事務所の
業務の中でも



建築技術性能証明（独自業務）は、

多く活用いただいている業務です。

※建築技術性能証明

新しく開発された建築技術の性能を当法人が第三者の立場から審査し、その技術が保有する性能について、性能証明書を発行するものです。

性能評価のほかにも、性能証明のお客様（ゼネコンの技術研究所の方や、メーカーの技術開発部門の方等）にも東京事務所を多くご利用いただいています。

また、各企業が希望される性能証明の取得に関連して、GBRCに実験や解析を委託した案件の打合せ等にもご利用いただいています。



設計事務所、ゼネコン、
構造設計者、技術研究所、
施工部門の技術者の皆様

GBRC東京事務所＋試験研究センター




試験研究センター



GBRC
試験研究センター
(大阪府吹田市)

【お知らせ】GBRC東京事務所へのアクセス

 周辺の駅から各5分以内の便利アクセス！



■所在地

東京都港区西新橋一丁目5-8
西新橋一丁目川手ビル4F

(日比谷通りと外堀通りの
交差点近くに立地)



■アクセス

JR「新橋」 日比谷口/徒歩4分
三田線「内幸町」A4a出口/徒歩1分
銀座線「虎ノ門」9番出口/徒歩4分



【解説】大臣認定申請の電子申請について

認定申請用の電子データのご提出について、vol.54 (2023/10/31) に掲載した内容から一部変更になりました。

変更内容：ファイル名に付す番号の変更

必要データ (PDF)

<新規の場合>

- ①認定申請資料一式
※ファイル名は下記の通りとしてください。
- 6. 【案件名】_パース・配置図
- 8-1. 【案件名】_別添
- 8-2. 【案件名】_別添構造図
- 9. 【案件名】_別表
(追加検討・追加資料含む)
(章ごとにしおり付け)
- 15. 【案件名】_議事録
(受付～報告までの一式)

<軽微変更の場合>

- ①認定申請資料一式
※ファイル名は下記の通りとしてください。
- 3. 【案件名】_既認定書※1
- 6. 【案件名】_パース・配置図
- 8-1. 【案件名】_別添
- 8-2. 【案件名】_別添構造図 (変更箇所の黄色マーキングは不要)
- 9. 【案件名】_別表
(別表末尾に検討資料番号を削除した変更項目リストを添付)
- 12. 【案件名】_変更項目リスト
(性能評価に係る履歴を冒頭に添付)
- 13. 【案件名】_変更前後図
- 14. 【案件名】_検討資料
- 15. 【案件名】_議事録

※1 既認定書は別途原本をご提出ください。原本を紛失された場合、紛失届が必要です。(紛失届の書式は事務局よりご案内いたします)

- ・認定申請用書類はBoxの「案件名」(認定申請用：申請者⇒GBRC)フォルダにてご提出ください。
データのご提出後、事務局でも書類の最終チェックを行います。
差し替えが発生した場合、すでに認定申請資料としてご提出されたデータと区別するためファイル名末尾に「r2」「r3」…を追加してください。
- ・認定申請書、委任状、代理申請依頼書については、事務局より別途メールにてご案内いたします。これらの書類はメールにてご提出ください。

【解説】材料告示改正について

建築物の基礎、主要構造部等に使用する建築材料並びにこれらの建築材料が適合すべき日本産業規格又は日本農林規格及び品質に関する技術的基準を定める件の一部が改正されます。

1. はじめに
建築基準法第 37 条における、建築物の基礎、主要構造部等に用いる一定の建築材料(以下「指定建築材料」)については、国土交通大臣が告示で指定するJIS等に適合するもの又は国土交通大臣が告示で定める品質に関する技術的基準に適合するものとして国土交通大臣の認定を受けたものとしなければなりません。

ここで、先述の具体的な規格及び技術的基準とは、平成 12 年建設省告示第 1446 号(以下「材料告示」)にて規定されています。この度、この材料告示が以下の内容で改正されることとなりました。

2. 改正概要

- ①国土交通大臣が指定する日本産業規格(JIS)等への新規規格の追加
→アルミニウム合金材の品質が適合すべき日本産業規格(JIS)に、「JIS H 4080 (アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管) - 1999」が追加されます。

②国土交通大臣が定める品質に関する技術的基準の改正

・特別な調査又は研究の結果に基づき、材料告示第三各号に掲げる技術的基準を満たす品質と同等以上の品質が確保されていると認められる建築材料については、同各号の技術的基準を適用されません。

・材料告示別表第二(は)欄において目視により建築材料の品質の確認を行うこととしている項目について、画像の確認等による外観検査等を可能となります。

交付：令和5年12月27日 施行：交付日



【トピックス】 軽微な変更手数料の算定方法の変更 (再掲)

性能評価における**軽微な変更**について、**2019年7月1日以降に新規** (既評価受付済み案件、既認定案件を除く) で受け付けた案件を対象に取り扱いが変わります。

変更する部位、部材について、各区分に該当する部位、部材が1つでもあれば、該当する区分数を申請数とし、**1申請分の手数料に当該申請数を乗じた額を手数料**とします。なお、1申請分の手数料は、従前どおり、申請建築物の延べ面積に応じた手数料額の1/10です。

例) 評価対象延べ面積20,000m²、大梁レベル変更→①、小梁断面変更→④ $1,510,000 \times 1/10 \times 2 = 302,000$ 円

区分	部位、部材	説明
軽微な変更区分①	柱、大梁、耐力壁、ブレース、柱梁接合部に関する部分	例えば、柱の継手位置変更も①に該当、柱頭免震の1階柱は①に該当
軽微な変更区分②	免震材料、制振部材その他これらに類する特殊な装置に関する部分	例えば、免震材料の取付部も②に該当 (特記、標準図を含む)
軽微な変更区分③	基礎、杭、地盤改良に関する部分	例えば、基礎梁開口は③に該当 (特記、標準図を含む)
軽微な変更区分④	①から③までに示す部分以外の部分	例えば、次のような部分 <ul style="list-style-type: none"> ・スラブ、間柱、小梁、非耐力壁、外装材、擁壁、板、塔屋、設備架台等の2次部材に関する部分 ・意匠上の算定方法の変更による床面積、建物高さの変更、柱状図の変更 ・その他、変更に関する検討を部会等で審査するのみで、別添 (部材等) が変わらない変更

詳しくは、性能協ホームページに掲載されておりますので、ご確認ください。性能協ホームページURL : <https://www.seinokyo.jp/>

* 上記区分のいずれかの項目が1項目でも計画変更に該当する場合は、全てまとめて1申請の計画変更となります。

【認定情報】 審査期間

● 認定審査期間の実績(2023.10月～12月) (性能評価期間は含みません)

今年度になってから申請を行った案件については、現状、通常の+0.5か月程度のお時間を要しています。

	標準期間※1	実績
新規	2ヶ月	62日 (2ヶ月程度)
新規 (特定天井あり※2)	2.5ヶ月	-
計画変更	1.5ヶ月	-
計画変更 (特定天井あり※2)	2ヶ月	-
軽微な変更	1.0ヶ月	30～31,40※3日 (1.25ヶ月程度)
軽微な変更 (特定天井あり※2)	1.5ヶ月	-

-は該当期間内での実績なしを示す

- ※1 標準期間は認定申請～認定書交付までの標準日数を表しています。
- ※2 特定天井がある場合は「通常の審査期間 + 0.5ヶ月」を目安としてください。
- ※3 変更項目の数が少ない案件であったため、比較的早期に認定されました。

【編集後記】

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も引き続きよろしくお願いいたします。本年は「辰年」ですね、龍のような力強さをもって、皆様と一緒に、活気ある良い一年となることを願っています。(kawa)



【お知らせ】 新メンバーの自己紹介

11月から性能評定課 構造グループに新しい職員が2名着任いたしました。新メンバーと共に、より一層円滑な業務運営に引き続き尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年11月より性能評定課に着任しました鳥谷（とりたに）と申します。

約2か月が経ちましたが、日々新しい事が多く新鮮な気持ちで業務に取り組んでおります。



申請手続き並びに技術面で皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

昨年11月より性能評定課に配属となりました、勝間と申します。

趣味は読書です。長らく文庫派でしたが、最近Kindleを購入して革命が起きました。

新たな場所で分からないことも多々ありますが、興味を持って取り組み、前向きに業務に励んでいきたいと思っております。

いち早く皆様のお力になれるよう、精一杯務めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
建築確認評定センター 性能評定課
担当：甲谷、鳥谷、川上、尻無瀨、勝間
TEL：080(8303)3867 FAX：06(6966)7680
E-mail：seinou@gbrc.or.jp